

香川獅子舞が洞爺村 無形文化財に指定

平成十七年九月三十日付けで、香川地区に伝わる獅子舞が、洞爺村無形文化財に指定され、十月四日、洞爺村文化財指定書の交付式が総合センターで行われました。

香川地区の獅子舞は、明治三十四年頃移住した方々が故



指定書を持つ香川獅子舞保存会山田代表

郷をしのび、明治三十六年に香川県の財田を源流とする獅子を導入し、五穀豊穡と家内安全を祈って、神社祭典などで奉納されてきました。

しかし、昭和二十三年の火災で道具類が焼失し活動が途絶え、過疎化や高齢化で復活の機会がありませんでした。

その後、香川地区の開拓百年となる平成元年までに復活させようと、昭和六十二年洞

爺村香川獅子舞保存会が結成され獅子舞が復活しました。

式では、洞爺村教育委員会蓮井委員長より交付を受けた同保存会の山田侑敬会長が、「身の引き締まる思いです。若い人と力を合わせ、獅子舞を守っていききたい」とあいさつしました。

彫刻清掃ボランティア 高橋建設社員

十月十五日、高橋建設社員の皆さんが、村内に設置されたぐるっと彫刻公園の彫刻十六基のうち岩屋地区の彫刻を除く十四基の彫刻清掃に汗を流しました。

このボランティアは、開催中の洞爺村国際彫刻ビエンナ



彫刻清掃に汗を流した高橋建設社員の皆さん

ーレに訪れる観光客も多いことから、また同社の秋期安全大会に合わせ地域貢献事業として実施されました。

清掃は、社員四十人が三班に分かれて実施され、彫刻に水をかけ、ブラシや雑巾でこびりついた汚れを落としました。

史跡めぐりウォークラリー 虻田町と共同開催

十月十五日、秋晴

れに恵まれ、「洞爺村史跡めぐりウォークラリー」(洞爺村教育委員会・健康づくり推進員会・虻田町教育委員会共催)が、虻田町民の皆さんを中心に三十数名が参加し、行われました。このウォークラリーは、洞爺村と虻田町の共同開催で行われ、参加者は村内の6箇所(浮見堂、郷

土資料室、洞爺八幡神社、老三樹、役場、頌徳碑)の史跡や文化財をめぐり、史跡にまつわる説明を聞き問題を解きながら、ゆつたりとウォークングを楽しんでいました。

また、最後に洞爺村国際彫刻ビエンナーレの彫刻を鑑賞して、健康ウォークとともに芸術の秋を堪能していました。



浮見堂からスタートした史跡めぐりウォークラリー